

授業科目	海外旅行実務				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	八尋 春海										
授業概要	国家試験である総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行実務」科目に対応する内容について学習する。一部については、国内旅行業務取扱管理者試験に出題されるものであり、すでに学んだことについての復習も行うことにする。また、旅行業英語も毎時間、テーマを決めて学ぶ。										
授業形態	講義	授業方法									
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	授業中に学んだ内容を理解するだけでは不十分で、自宅で単純な暗記をすべき内容も多くある。旅行業務取扱管理者試験（総合）では英語の配点が高いため、日常の英語学習が必要である。 海外旅行において役立つ実務知識を得ることができ、人に説明できる。										
理想的レベル	国家試験の「海外旅行実務」のうち、「旅行実務」「出入国法令と実務」「国際航空運賃」の分野において、合格点レベル（60点）が取れるようになる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	45%										
小テスト	35%										
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	20%										
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	T021106J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
予習										4	
授業計画											
第1回	オリエンテーションをする。旅行業英語を学ぶ。										
第2回	募集型企画旅行のプランを分析する。旅行業英語を学ぶ。										
第3回	LCCの特徴を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。										
第4回	空港の特徴を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。										
第5回	宿泊施設の特徴を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。										
第6回	パスポート、ビザについて学ぶ。旅行業英語を学ぶ。										
第7回	旅行荷物に関する制限について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。										

第 8 回	海外の観光施設について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第 9 回	海外の鉄道について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。 小テスト
第 10 回	海外の飲食店について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第 11 回	免税について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第 12 回	出入国手続き実務について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第 13 回	各種約款について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第 14 回	業法を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第 15 回	まとめ
テキスト	JTB 総合研究所のテキスト
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	図書館 1 階にある資格のコーナーの旅行業務取扱管理者試験の参考書
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時にその日の授業のポイントについてのコメントを提出させる。提出されたコメントに対して次回の授業の際に、理想的なポイントを提示する。また、質問があれば回答し、理解が十分にできていないと思われる内容があれば追加で解説を行う。
学生へのメッセージ・コメント	「国内旅行実務」の授業で学んだ、旅行業法・約款、国内旅行実務の内容を十分に理解していること。 授業中にはスマートフォンをしまっておくこと。